

支部認定講師・カウンセラー 育成制度

～2025年度版～



一般社団法人 日本産業カウンセラー協会
北関東支部

支部認定講師・カウンセラー制度について

1. 支部認定講師・カウンセラー制度の基本方針

- ▶ 北関東支部ではかねてより、研修講師やカウンセラーの派遣等を通じて、企業・団体さまへの職場のメンタルヘルス対策・キャリア形成の支援等のための活動に力を入れてまいりました。しかし、ストレスチェック制度の法制化、ハラスメント防止関連法の強化、ITデバイスの小型化によるコミュニケーションの多様化、予期せぬ自然災害の発生などにより、産業カウンセラーが対応を要求される範囲は、かつての想定とは比較にならないほど広くなりました。こうした状況を踏まえ、北関東支部としては、これまで以上に普及事業（講師・カウンセラーの派遣）を中心とする事業推進活動の強化を図り、そのための人材育成にも積極的に取り組んでいく方針です。
- ▶ 今回、その取り組みの一環として、従来の支部認定講師・カウンセラー制度を見直し、より学びやすい仕組みとして工夫された、新しい支部認定講師・カウンセラー制度に2020年度より移行することにしました。ひとりでも多くの支部会員の皆様が主体的かつ積極的に学習を重ねて、産業カウンセラーとして自己研鑽に努め、活躍の場を広げることを通じて、社会に貢献できるよう願っております。

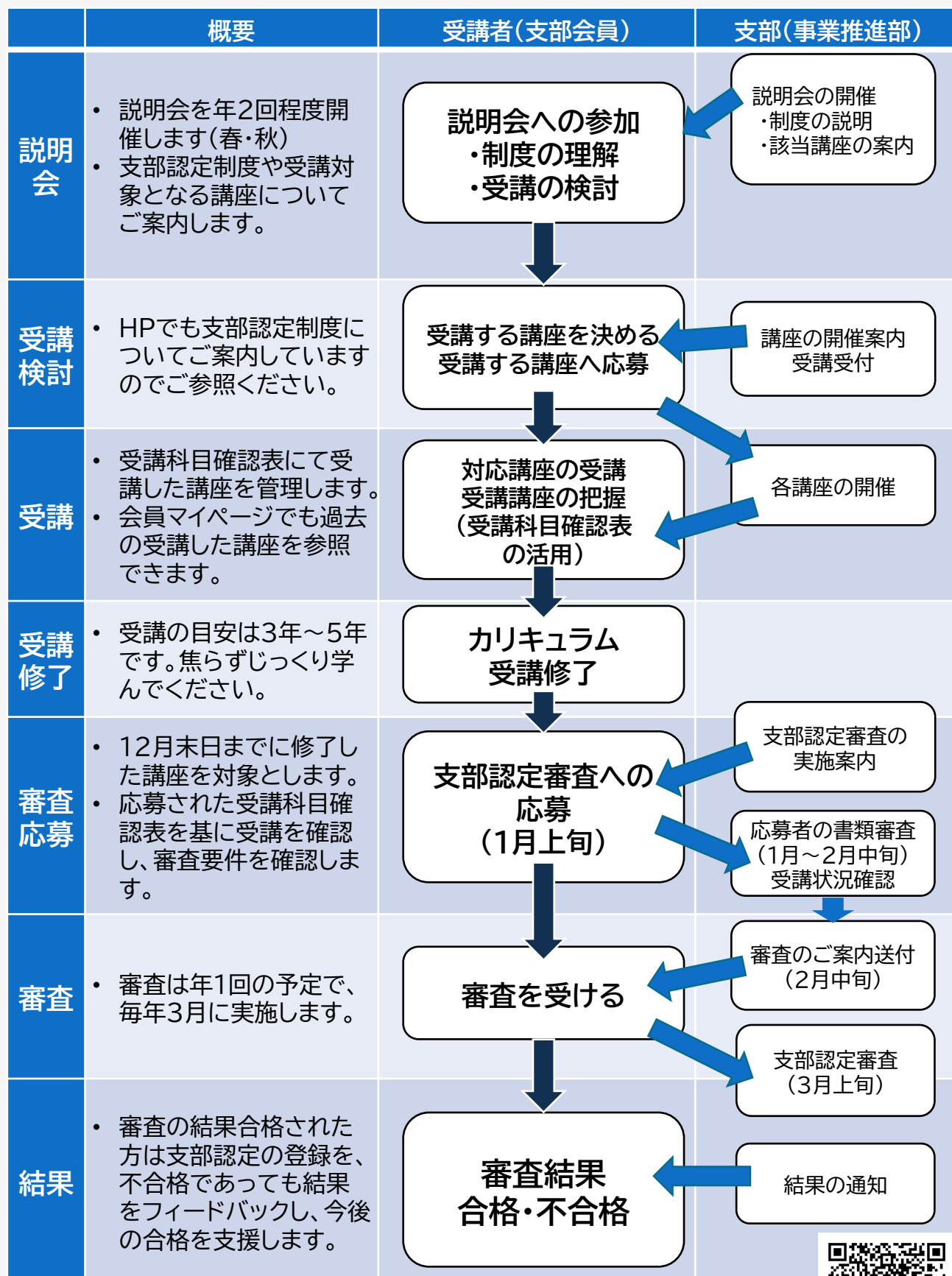
2. 支部認定講師・カウンセラーとは

- ▶ 支部認定講師・カウンセラーは、3つの活動領域（1.メンタルヘルス対策への支援、2.キャリア形成への支援、3.職場における人間関係開発・職場環境改善への支援）に対応し、プロフェッショナルとして社会に通用する経験と専門性、並びに主体性を十分に兼ね備えた支部を代表する講師・カウンセラーです。これはすなわち、支部認定講師・カウンセラーは、単に組織の内外から要望される課題に対する解決の支援だけでなく、自ら課題を発見し、個人はもとより組織にも働きかけ、よりよい職場環境づくりへの支援ができる人材であることを意味します。

3. 育成カリキュラムの特徴

- ▶ 従来の育成カリキュラムは、指定された育成のための専門講座を受講するシステムでしたが、本育成カリキュラムでは、現在展開中の既存の講座（シニア産業カウンセラー育成講座・国家資格キャリアコンサルタント更新研修・支部研修等）の中から、支部認定講師・カウンセラーの能力要件ごとに対応講座を指定し、その対応講座の中から選択して受講できる仕組みになっています。
- ▶ 一定の受講期間や受講順序も定められていないため、自分の都合やペースに合わせ、無理なく柔軟に学びを深めることが可能です。自己研鑽を継続していると支部認定講師・カウンセラーに必要な能力要件の習得が積み重なっていくカリキュラム形態となっています。
- ▶ ＊育成カリキュラムの詳細については、3ページ以降をご参照ください。

支部認定講師・カウンセラー育成制度の流れ



受講科目確認表は、本資料P9・P10を切り取って使うか、以下のURL、または右のQRコードからダウンロードしてお使いください。

http://www.jica-kitakantou.org/download/counselor_checklist.xlsx



支部認定講師育成カリキュラムについて

1. 支部認定講師育成の目的

支部認定講師の育成カリキュラムは、企業団体等の要請に基づき、産業カウンセラーの3つの活動領域にわたる研修・講座の講師を担当できる実践的能力を備えた人材の育成を目的とします。

*支部認定講師となることにより業務の受託が保証されるものではありません。

2. 支部認定講師が保有すべき基本能力、専門性能力

- ①人間観
- ②倫理観
- ③産業カウンセラーの活動領域に関する知識
- ④コンプライアンス
- ⑤計画作成
- ⑥研修資料等の作成能力
- ⑦プレゼンテーション

【4ページ:能力要件・対応講座表に関する注意事項】

- ① 認定審査を受けるには指定された対応講座から任意のものを選択して受講しつつ、その合計受講時間が、能力要件の中項目または小項目ごとに所定の受講時間の条件を満たしている必要があります。ただし、複数の中項目または小項目をまたぐ対応講座に関しては、受講時間が認定審査の要件を満たしているかどうかを判断する場合、その受講時間を、対応するそれぞれの中項目または小項目に対し任意に分配して計算するものとします。(4ページ下段を参照願います。)
- ② 対応講座は、シニア産業カウンセラー育成講座・会員研修講座・キャリアコンサルタント資格更新講習及び下記の団体が主催する能力要件の同等の内容の講座とします。下記団体にて受講された、あるいは受講予定の講座が支部認定の能力要件を満たすか否かは支部までお問い合わせください。また、これらの講座の受講証明は、主催団体の発行する修了証または受講証明書を以て行います。

日本産業カウンセリング学会/日本うつ病学会/日本音楽療学会/日本カウンセリング学会/日本学生相談学会/日本家族心理学会/日本行動分析学会/日本行動療学会/日本交流分析学会/日本産業衛生学会/日本産業ストレス学会/日本産業精神保健学会/日本自殺予防学会/日本自律訓練学会/日本心理臨床学会/日本進路指導学会/日本トランスパーソナル学会/日本内観学会/日本人間性心理学会/日本認知心理学会/日本箱庭療学会/日本発達心理学会/日本臨床心理学会/日本論理療学会/森田療学会/日本キャリアデザイン学会/中央労働災害防止協会/産業保健推進センター/心理相談員(各地方組織)/中央職業能力開発協会/キャリア・コンサルティング協議会

- ③ シニア産業カウンセラー育成講座の履修には、協会が目指す産業カウンセラー像や講座全体の趣旨などを理解するため「23-1 シニア産業カウンセラーの理解(ガイダンス)」の受講が必須となっています。それを踏まえて「23-1 シニア産業カウンセラーの理解(ガイダンス)」の受講を強く推奨します。
- ④ 今後、対応講座については社会の実情に即して、新たな講座も加えて参ります。最新の対応講座は、北関東支部ホームページにてご確認ください。
- ⑤ すべての育成カリキュラムを修了するのに要する期間は、3～5年を想定しています。
- ⑥ 表中※は、他の能力要件でも適用可能な重複科目を示します。

北関東支部認定講師育成能力要件・対応講座表

認定講師能力要件		認定講師育成ガイドライン		認定必須 時間(H)	対応講座			
大項目	中項目	小項目	時間		シニア産業カウンセラー 育成講座	2025年度開催 支部研修	支部開催 CC更新研修	ストレスチェック アドバイザー養成研修
1 人間観	1-1 人間性			18(18のうち ベースシクエン カウンター (12)を必須と する)	【13】自己理解の深度化(バ イシク・エンカウンター・グ ループ体験)(18)			
	1-2 自己理解・他者理解						【JIC19T06】就職支援に 活かす「構成的グループエ ンカウンター」(技能講習)(6)	
2 倫理観	2-1 倫理綱領の理解	講師の役割・心構え・能力 要件	2	3	【23-2】産業カウンセラー倫 理の実践的理解(3)			
	2-2 行動規範の順守	講師に関連する法令	2					
	2-3 著作権法の順守							
3 産業カウンセ ラーの活動領域に 関する知識	3-1メンタルヘルス対策の支 援	メンタルヘルス対策	4	4	【20】メンタルヘルス支援体 制構築の実践的理解(18)			
		精神医学の基本的理解	2	2				
		コミュニケーション理論	3	3				
	3-2職場の人間関係開発・職 場環境改善の支援	ハラスメント知識と対策	4	4	【20】※メンタルヘルス支援 体制構築の実践的理解 (18)			
		ストレスチェック制度	2	2				
	3-3キャリア開発の支援	キャリア理論とキャリア開 発	6	6	【9】キャリア形成支援の事 例検討及び実習(18)		【JIC19T09】自己理解演 習「セルフキャリアデザイン」 (技能講習)(6) 【JIC19T05】キャリアコン サルティングの実践的事例 検討「キャリアチェンジ」(技 能講習)(6)	
4 コンプライアンス	4-1労働法令の理解	メンタルヘルス対策の法的 根拠	2	2	【20】※メンタルヘルス支援 体制構築の実践的理解 (18)			
5 計画作成	5-1企画書の作成	研修企画書・資料作成の 基礎	2	2	【19】教育研修指導法の実 践的理解(6)			
	5-2レジュメの作成	研修資料(レジュメ等)作 成要領	4	10	【9】※キャリア形成支援の 事例検討及び実習(18)			
		講演テーマに基づく研修 資料(レジュメ)の作成	6					
6 プレゼンテー ション	6-1態度・話し方	グループファシリテーショ ン	3	グループファ シリテーション 3+実技2回 16+検討2 計21	【18】ファシリテーションと グループワークの実践的理 解(12)		【JIC19T06】キャリアコン サルティングに必要な「グ ループアプローチの技能・基 礎編」(技能講習)(6)	
	6-2講義等の内容	研修講師体験	6		【21】働きやすい職場づくり の実践的理解(12)			
		講演依頼のニーズに基づ く研修企画書・レジュメの 作成(宿題)						
	6-3受講者対応	模擬研修講師実践及び能 力評価	6		【S17】 講師の現場力育成講座 (18)			
		模擬研修講師実践及び能 力評価	4					
		模擬研修のグループ検討	2					
計			60	77				

※ 重複している科目

単一講座が複数の能力要件に跨る場合の受講時間算定方法(講師・カウンセラー共通)

3 産業カウンセ ラーの活動領域に 関する知識	3-1メンタルヘルス対策の支 援	メンタルヘルス対策	4	4	【20】メンタルヘルス支援体 制構築の実践的理解(18)
		精神医学の基本的理解	2	2	【6】臨床精神医学・心身医 学の実務(6)
		コミュニケーション理論	3	3	【17】人間関係形成の実践 的理解(6)
	3-2職場の人間関係開発・職 場環境改善の支援	ハラスメント知識と対策	4	4	【20】※メンタルヘルス支援 体制構築の実践的理解 (18)
		ストレスチェック制度	2	2	
	3-3キャリア開発の支援	キャリア理論とキャリア開 発	6	6	【9】キャリア形成支援の事 例検討及び実習(18)
4 コンプライアンス	4-1労働法令の理解	メンタルヘルス対策の法的 根拠	2	2	【20】※メンタルヘルス支援 体制構築の実践的理解 (18)

「メンタルヘルス支援体制構築の実践的
理解」(18時間)の講座を1回受講すれば、
以下の認定必須時間数に該当する時間
数に割り当てることが出来る。

- ・メンタルヘルス対策:4時間
- ・ハラスメント知識と理解:4時間
- ・ストレスチェック制度:2時間
- ・メンタルヘルス対策の法的根拠:2時間

合計:12時間分の割り当てが可能

支部認定カウンセラー育成カリキュラムについて

1. 支部認定カウンセラー育成の目的

支部認定カウンセラーの育成カリキュラムは、企業団体等の要請に基づき、産業カウンセラーの3つの活動領域に関わるカウンセリング業務、並びに支部の相談室におけるカウンセリング業務を担当できる実践的能力を備えた人材を目的とします。

＊支部認定カウンセラーとなることにより業務の受託が保証されるものではありません。

2. 支部認定カウンセラーが保有すべき基本能力、専門性能力

- ① 人間観
- ② 倫理観
- ③ 産業カウンセラーの活動領域に関する知識
- ④ コンプライアンス
- ⑤ カウンセリングの基礎
- ⑥ カウンセリングの理論と方法
- ⑦ カウンセリング力

【6ページ:能力要件・対応講座表に関する注意事項】

- ① 認定審査を受けるには指定された対応講座から任意のものを選択して受講しつつ、その合計受講時間が、能力要件の中項目または小項目ごとに所定の受講時間の条件を満たしている必要があります。ただし、複数の中項目または小項目をまたぐ対応講座に関しては、受講時間が認定審査の要件を満たしているかどうかを判断する場合、その受講時間を、対応するそれぞれの中項目または小項目に対し任意に分配して計算するものとします。(4ページ下段を参照願います。)
- ② 対応講座は、シニア産業カウンセラー育成講座・会員研修講座・キャリアコンサルタント資格更新講習及び下記の団体が主催する能力要件の同等の内容の講座とします。下記団体にて受講された、あるいは受講予定の講座が支部認定の能力要件を満たすか否かは支部までお問い合わせください。また、これらの講座の受講証明は、主催団体の発行する修了証または受講証明書を以て行います。

日本産業カウンセリング学会/日本うつ病学会/日本音楽療学会/日本カウンセリング学会/日本学生相談学会/日本家族心理学会/日本行動分析学会/日本行動療学会/日本交流分析学会/日本産業衛生学会/日本産業ストレス学会/日本産業精神保健学会/日本自殺予防学会/日本自律訓練学会/日本心理臨床学会/日本進路指導学会/日本トランスパーソナル学会/日本内観学会/日本人間性心理学会/日本認知心理学会/日本箱庭療学会/日本発達心理学会/日本臨床心理学会/日本論理療学会/森田療学会/日本キャリアデザイン学会/中央労働災害防止協会/産業保健推進センター/心理相談員(各地方組織)/中央職業能力開発協会/キャリア・コンサルティング協議会

- ③ シニア産業カウンセラー育成講座の履修には、協会が目指す産業カウンセラー像や講座全体の趣旨などを理解するため「23-1 シニア産業カウンセラーの理解(ガイダンス)」の受講が必須となっています。それを踏まえて「23-1 シニア産業カウンセラーの理解(ガイダンス)」の受講を強く推奨します。
- ④ 今後、対応講座については社会の実情に即して、新たな講座も加えて参ります。最新の対応講座は、北関東支部ホームページにてご確認ください。
- ⑤ すべての育成カリキュラムを修了するのに要する期間は、3～5年を想定しています。
- ⑥ 表中※は、他の能力要件でも適用可能な重複科目を示します。

北関東支部認定カウンセラー育成能力要件・対応講座表

認定カウンセラー能力要件				認定必須 時間(H)	対応講座					表記【○】×××(△)○講座番号 ×講座名 △受講時間	
大項目	中項目	小項目	時間		シニア産業カウンセラー 育成講座	電話相談員 育成講座	2025年度開催 支部研修	支部開催 CC更新研修	ストレスチェック アドバイザー養成研修		
1 人間観	1-1 人間性			18(18のうち ベーシックエン カウンター (12)を必須と する)	【13】自己理解の深度化(ベ イシック・エンカウンター・グ ループ体験)(18)			【JIC19T06】就職支援に活か す「構成的グループエンカウ ター」(技能講習)(6)			
	1-2 自己理解・他者理解				【12】セルフキャリア開発(6)			【JIC19T09】 自己理解演習「セルフキャリアデ ザイン」(技能講習)(6)			
2 倫理観	2-1 倫理綱領の理解	カウンセラーの役割・ 心構え・能力要件	2	3	【23-2】産業カウンセラー倫 理の実践的理解(3)						
	2-2行動規範の順守	カウンセラーに関連す る法令	2								
3 産業カウンセ ラーの活動領域に 関する知識	3-1メンタルヘルス対策の支 援	メンタルヘルス対策	4	4	【20】メンタルヘルス支援体 制構築の実践的理解(18)		【S12】レジリエンスの基礎 知識と強化策(6) 【S33】ビジネスパーソン のためのメンタルヘルス研修 (6)				
		精神医学の基本的理解	2	2	【6】臨床精神医学・心身医学 の実務(6)		【S50】発達障がいへの支 援と理解(6)	【JIC19T01】 事例に学ぶ「メンタルヘルスの 理解と対応」(技能講習)(6)			
		コミュニケーション理 論	3	3	【17】人間関係形成の実践的 理解(6)			【JIC18T03】体験的に学ぶア ンガーマネジメント(技能講習) (6)			
	3-2職場の人間関係開発・職 場環境改善の支援	ハラスメント知識と対 策	4	4	【20】※メンタルヘルス支援 体制構築の実践的理解(18)				【1-1】ストレスチェック実施者養 成研修(6) 【2-1】SC面談者養成研修 基 礎編1(12)		
		ストレスチェック制度	2	2							
	3-3キャリア開発の支援	キャリア理論とキャリア 開発	6	6	【9】キャリア形成支援の事例 検討及び実習(18)			【JIC19T09】 自己理解演習「セルフキャリアデ ザイン」(技能講習)(6) 【JIC19T05】キャリアコンサル ティングの実践的事例検討 「キャリアアチェンジ」(技能講習) (6)			
	4 コンプライアンス	4-1労働法令の理解			2	【20】※メンタルヘルス支援 体制構築の実践的理解(18)					
5 カウンセリングの 基礎	5-1職場の問題(ハラスメン ト、適性、キャリア支援など)			24 (4種以上)	【21】働きやすい職場づくり の実践的理解(12)	28	【S50】発達障がいへの支 援と理解(6)	【JIC16T01】 「企業領域」編(ロールプレイ演 習・技能講習)(6) 【JIC19T03】 事例検討「がん治療と就労の両 立支援」(技能講習)(6) 【JIC19T04】理論を活用した 事例検討「実践で活かすキャリ ア理論」(技能講習)(6)			
	5-2労働と生活に関わる法律 問題(解雇、非正規労働、離 婚、DVなど生活関連)										
	5-3精神医学関連(病態水準 見立てのポイント)							【S43】トラウマ、PTSD 対 応カウンセリング(6)			
	5-4ストレスチェック(3-2に 含まれる)						【20】※メンタルヘルス支援 体制構築の実践的理解(18)				【1-1】ストレスチェック実施者養 成研修(6) 【2-1】SC面談者養成研修 基 礎編1(12)
	5-5大人の発達障害と就労支 援				【7】パーソナリティの病理 (6) 【20】※メンタルヘルス支援 体制構築の実践的理解(18)	【S50】発達障がいへの支 援と理解(6)	【JIC19T02】 事例に学ぶ「発達障害の理解と 対応」(技能講習)(6)				
					5-6危機介入				【8】危機介入等の実践的理 解(6)	7	
	6 カウンセリングの 理論と方法				6-1カウンセリングの理論と 方法			36 (4種以上)	【1】認知行動療法(12)		【S28】解決思考ブリーフセラピー 入門講座(6) 【S27】基礎から学ぶ認知行動療法(12) 【S11】マインドフルネス(6) 【S42】NLP(神経言語プログラミング)講座(6) 【S25】森田療法入門(6) 【S20】交流分析 入門(12) 【S35】交流分析 入門(12)
【2】アサーション(6)											
【3】交流分析(12)											
【5】ブリーフセラピー(6)											
7 カウンセリング力	7-1逐語記録・事例報告の作 成と検討			30	【11-1】逐語記録・事例報告 の作成と検討(6)		【養成講座指導者研修】 カウンセリング力向上研修				
					【11-2】逐語記録・事例報告 の作成と検討(12)						
					【11-3】逐語記録・事例報告 の作成と検討(12)						
計				134							

大項目1～4は支部認定講師・支部認定カウンセラー共通の能力要件であり、5～7は支部認定カウンセラーのみの能力要件である ※重複している講座

参考：支部認定獲得までの学習のパターン

・本表は受講の一例を示しており、必ずしもこの表の通りに受講しなければいけないわけではありません。
・時間数・費用は2025年5月30日現在。今後変動する可能性があります。

認定講師を目指す方向け

講師を目指す方は、受講の選択幅がカウンセラーに比べて狭いですが、講師に必要な実力はこれで最低限カバーできます。

種別	シニア産業カウンセラー育成講座	支部研修	CC更新講習
取得科目	(6)臨床精神医学・心身医学の実務[6] (9)キャリア形成支援の事例検討及び実習[18] (13)自己理解の深度化(ベシック・エンカウンター・グループ体験)[18] (19)教育研修指導法の実践的理解[6] (20)メンタルヘルス支援体制構築の実践的理解[18] (23-2)産業カウンセラー倫理の実践的理解[3]	(S23)事例から学ぶ著作権の基礎[3] (S17)講師の現場力養成講座[18]	【JIC18T09】自己理解演習「セルフキャリアデザイン」(技能講習)(6) 【JIC18T03】体験的に学ぶアンガーマネジメント(技能講習)(6) 【JIC19T05】キャリアコンサルティングの実践的事例検討「キャリアチェンジ」(技能講習)(6)
時間数・費用	6科目 69H / ¥183,150	2科目 21H / ¥29,000	3科目 18H / ¥48,000
合計	11科目 108H / ¥260,150		

シニア産業カウンセラーも目指したいので、シニア講座を中心に学びたい方向け

着々とシニア産業カウンセラー育成講座を受講するパターンです。並行して学び続けると、シニアの受験資格取得の2/3を修了したことになります。

種別	シニア産業カウンセラー育成講座
取得科目	(1)認知行動療法[12] / (2)アサーション[6] / (3)交流分析[12] / (5)ブリーフセラピー[6] (6)臨床精神医学・心身医学の実務[6] / (7)パーソナリティの病理[6] (9)キャリア形成支援の事例検討及び実習[18] (11-1)逐語記録・事例報告の作成と検討[6] / (11-2)逐語記録・事例報告の作成と検討[12] (11-3)逐語記録・事例報告の作成と検討[12] / (12)セルフキャリア開発[6] (13)自己理解の深度化(ベシック・エンカウンター・グループ体験)[18] (17)人間関係形成の実践的理解[6] / (20)メンタルヘルス支援体制構築の実践的理解[18] (21)働きやすい職場づくりの実践的理解[12] / (23-2)産業カウンセラー倫理の実践的理解[3]
時間数・費用	16科目 159H / ¥425,150

広く学びたいので講座の種類の多い会員研修を中心に学びたい方向け

社会の変化に合わせて、タイムリーで幅広い知識を蓄積できます。そんな新しい講座に興味のある方にお勧めです。

種別	シニア産業カウンセラー育成講座	北関東支部 支部研修(含CC更新研修・SCアドバイザー研修)
取得科目	(11-1)逐語記録・事例報告の作成と検討[6] (11-2)逐語記録・事例報告の作成と検討[12] (11-3)逐語記録・事例報告の作成と検討[12] (13)自己理解の深度化(ベシック・エンカウンター・グループ体験)[18] (17)人間関係形成の実践的理解[6] (20)メンタルヘルス支援体制構築の実践的理解[18] (23-2)産業カウンセラー倫理の実践的理解[3]	(S50)発達障がいへの支援と理解[6] (S28)入門 解決思考ブリーフセラピー[6] (S27)基礎から学ぶ認知行動療法[12] (S20)交流分析入門[12] (S43)トラウマ、PTSD 対応カウンセリング[6] (1-1)ストレスチェック実施者養成研修[6] (2-1)SC面談者養成研修 基礎編1[12] 【JIC19T09】 自己理解演習「セルフキャリアデザイン」(技能講習)[6]
時間数・費用	7科目 75H / ¥199,650	10科目 72H / ¥116,000
合計	17科目 147H / ¥315,650	

国家資格キャリアコンサルタントを持っています。キャリアコン更新研修を中心に学びたい

国家資格キャリアコンサルタントの維持を軸に置きながらも、更にカウンセリングの学びを深めることが出来るパターンです。

種別	シニア産業カウンセラー育成講座	支部研修	CC更新講習
取得科目	(8)危機介入等の実践的理解[6] (11-1)逐語記録・事例報告の作成と検討[6] (11-2)逐語記録・事例報告の作成と検討[12] (11-3)逐語記録・事例報告の作成と検討[12] (13)自己理解の深度化(ベシック・エンカウンター・グループ体験)[18] (20)メンタルヘルス支援体制構築の実践的理解[18] (23-2)産業カウンセラー倫理の実践的理解[3]	(S28)入門 解決思考ブリーフセラピー[6] (S27)基礎から学ぶ認知行動療法[12] (S20)交流分析入門[12] (S43)トラウマ、PTSD 対応カウンセリング[6]	【JIC19T09】自己理解演習「セルフキャリアデザイン」(技能講習)(6) 【JIC19T01】事例に学ぶ「メンタルヘルスの理解と対応」(技能講習)(6) 【JIC18T03】体験的に学ぶアンガーマネジメント(技能講習)(6) 【JIC19T05】キャリアコンサルティングの実践的事例検討「キャリアチェンジ」(技能講習)(6) 【JIC19T04】理論を活用した事例検討「実践で活かすキャリア理論」(技能講習)(6) 【JIC19T02】事例に学ぶ「発達障害の理解と対応」(技能講習)(6)
時間数・費用	7科目 75H / ¥199,650	4科目 36H / ¥40,000	6科目 36H / ¥96,000
合計	18科目 147H / ¥335,650		

電話相談員研修を受講済みあるいは受講中の方向け

まずは電話相談員として活動したいと考えていたけれど、支部認定カウンセラーも目指してみたい方向けのパターンです。

種別	シニア産業カウンセラー育成講座	支部研修	CC更新講習
取得科目	(11-1)逐語記録・事例報告の作成と検討[6] (11-2)逐語記録・事例報告の作成と検討[12] (11-3)逐語記録・事例報告の作成と検討[12] (13)自己理解の深度化(ベシック・エンカウンター・グループ体験)[18] (20)メンタルヘルス支援体制構築の実践的理解[18] (23-2)産業カウンセラー倫理の実践的理解[3]	(S28)入門 解決思考ブリーフセラピー[6] (S27)基礎から学ぶ認知行動療法[12] (S20)交流分析入門[12]	【JIC19T09】自己理解演習「セルフキャリアデザイン」(技能講習)(6) 【JIC19T01】事例に学ぶ「メンタルヘルスの理解と対応」(技能講習)(6) 【JIC18T03】体験的に学ぶアンガーマネジメント(技能講習)(6) 【JIC19T05】キャリアコンサルティングの実践的事例検討「キャリアチェンジ」(技能講習)(6) 【JIC19T02】事例に学ぶ「発達障害の理解と対応」(技能講習)(6)
時間数・費用	6科目 69H / ¥183,150	3科目 30H / ¥42,000	5科目 30H / ¥80,000
合計	14科目 129H ¥305,150 + 電話相談員育成講座 35H ¥72,000		

活動している支部認定講師・カウンセラーの声

☆週1回、職員さんのカウンセリングを担当しています。

私としては、初めてのカウンセリングの現場になりました。カウンセリングの初日は自分にできるだろうかと一抹の不安を感じました。でも、この育成講座でしっかり学んだという安心感もありました。様々なケースに接するたびにクライアントに寄り添うことを意識しながら学びを続けました。今は、はや同じ現場で3年目になりました。現場を端とすることで、私自身が成長できているんだと実感しています。

(2007年認定 F・Oさん)



☆平日は本業があるので週末・夜間でのカウンセリングを担当しています。

私は、平日はフルタイムで勤務をしています。そのため週末・夜間での仕事のみ担当しています。せっかく認定していただいたのでなんとか継続していきたいからです。ただ、今後生き方が変わったら、さらに活動を増やしていきたいと思っています。産業カウンセラー協会北関東支部を通して、ずっと社会にかかわりたいと思っています。

(2005年認定 Y・Sさん)



☆支部認定講師として活動しています。

支部認定講師を目指して認定を受けるまでに2年数か月かかりました。その間は一緒に学んだ仲間と励ましあったり情報交換をしたりしました。折れそうになる気持ちを支えあいながらお互い研鑽を重ねました。

支部認定講師に認定されてからは、熱心に研修に参加される方が多くなったように感じています。私の場合、他の資格と合わせて「支部認定講師」を併記するようになってから、行政・企業とも研修講師に招かれる機会も増え、活動範囲や今後の可能性が増えました。やはり「支部認定」の効果かと感じています。

(2015年認定 I・Eさん)



☆支部認定講師としても支部認定カウンセラーとしても活動しています。

カウンセリングと教育研修の両方を担当しています。心理の職域は医療・教育・福祉がほとんどで産業はまだほんの一握り、だからこそ産業カウンセラーには大きな可能性があると思います。カウンセリングの経験やスキルは、講師をする際にも具体的な事例をあげたり受講者の話を聞いたりするのに役立ちますし、企業でカウンセリングをしていると研修も頼まれる機会が多いため、カウンセラーと講師の両方ができることは、自分の大きな強みになっていると感じています。

(2002年認定 K・Aさん)



2023.5.14版										氏名
支部認定講師審査 受講科目確認表										
認定講師能力要件		認定講師育成ガイドライン		認定必須 時間(H)	受講科目			講座受講終了日	受講 証明 チェッ ク欄	
大項目	中項目	小項目	時間		分類 ※	科目タイトル	時間			
1 人間観	1-1 人間性			18（18のうち ベーシックエンカ ウンター(12)を 必須とする）				年 月 日		
	1-2 自己理解・他者 理解							年 月 日		
2 倫理観	2-1 倫理綱領の理解	講師の役割・心構 え・能力要件	2	3				年 月 日		
	2-2行動規範の順守	講師に関連する法 令	2					年 月 日		
	2-3著作権法の順守							年 月 日		
3 産業カウ ンセラーの活動 領域に関する 知識	3-1メンタルヘルス対策 の支援	メンタルヘルス対策	4	4				年 月 日		
		精神医学の基本的 理解	2	2				年 月 日		
		コミュニケーション理 論	3	3				年 月 日		
	3-2職場の人間関係 開発・職場環境改善 の支援	ハラスメント知識と対 策	4	4				年 月 日		
		ストレスチェック制度	2	2				年 月 日		
	3-3キャリア開発の支援	キャリア理論とキャリア 開発	6	6				年 月 日		
4 コンプライ アンス	4-1労働法令の理解	メンタルヘルス対策の 法的根拠	2	2				年 月 日		
5 計画作成	5-1企画書の作成	研修企画書・資料 作成の基礎	2	2				年 月 日		
	5-2レジュメの作成	研修資料（レジュメ 等）作成要領	4	10				年 月 日		
		講演テーマに基づく 研修資料（レジュ メ）の作成	6					年 月 日		
6 プレゼン テーション	6-1態度・話し方	グループファシリテ ーション	3	グループファシ リテーション3 +実技2回 16+検討2 計21				年 月 日		
	6-2講義等の内容	研修講師体験	6					年 月 日		
	6-3受講者対応				講演依頼のニーズに 基づく研修企画書・ レジュメの作成（宿 題）					年 月 日
		模擬研修講師実践 及び能力評価	6					年 月 日		
		模擬研修講師実践 及び能力評価	4					年 月 日		
		模擬研修のグループ 検討	2					年 月 日		
	計				60	77				
部分に記入すること ※以下の数字を記入 1:シニア育成講座、2:キャリア講座、3：会員研修、4：電話相談員研修、5：その他										

支部認定カウンセラー審査 受講科目確認表

認定カウンセラー能力要件				認定必須 時間(H)	受講科目			講座受講終了日	受講 証明 チェッ ク欄
大項目	中項目	小項目	時間		分類 ※	科目タイトル	時間		
1 人間観	1-1 人間性			18 (18のうち ベーシックエンカ ウンター(12)を 必須とする)				年 月 日	
	1-2 自己理解・他者 理解							年 月 日	
2 倫理観	2-1 倫理綱領の理解	講師の役割・心 構え・能力要件	2	3				年 月 日	
	2-2 行動規範の順守	講師に関連する 法令	2					年 月 日	
3 産業カウンセ ラーの活動領域 に関する知識	3-1メンタルヘルス対策 の支援	メンタルヘルス対策	4	4				年 月 日	
		精神医学の基本的 理解	2	2				年 月 日	
		コミュニケーション 理論	3	3				年 月 日	
	3-2職場の人間関係 開発・職場環境改善の 支援	ハラスメント知識と 対策	4	4				年 月 日	
		ストレスチェック制 度	2	2				年 月 日	
	3-3キャリア開発の支援	キャリア理論とキャ リア開発	6	6				年 月 日	
4 コンプライア ンス	4-1労働法令の理解			2				年 月 日	
5 カウンセリン グの基礎	5-1職場の問題（ハラスメン ト、適性、キャリア支援など）			24（4種 以上）				年 月 日	
	5-2労働と生活に関わる法 律問題（解雇、非正規労 働、離婚、DVなど生活関 連）							年 月 日	
	5-3精神医学関連（病 態水準見立てのポイント）							年 月 日	
	5-4ストレスチェック（3- 2に含まれる）							年 月 日	
	5-5大人の発達障害と 就労支援							年 月 日	
	5-6危機介入							年 月 日	
6 カウンセリン グの理論と方法	6-1カウンセリングの理 論と方法			36（4種 以上）				年 月 日	
								年 月 日	
								年 月 日	
								年 月 日	
7 カウンセリン グ力	7-1逐語記録・事例報 告の作成と検討			30				年 月 日	
								年 月 日	
								年 月 日	
計				134					

部分に記入すること

※以下の数字を記入 1:シニア育成講座、2:キャリア講座、3: 会員研修、4.電話相談員研修、5: その他

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会



北関東支部 事業推進部

〒337-0062 さいたま市浦和区仲町3-5-1
埼玉県県民健康センター2F
Tel:048-823-7801 Fax:048-823-7807
E-mail : counsel@jica-kitakantou.org
支部HP : <http://www.jica-kitakantou.org/>
